



やまだ 議会だより

No. 181

2023. 12. 1発行
岩手県山田町議会



シリーズ 家族の笑顔

大沢地区在住の岡田さん家族。
町への提言、思いを伺いまし
た。(関連記事P24)

10月
定例会

- 山田小学校放課後児童クラブ
建設始まる -2 P
- 令和4年度決算審査 -4 P
- 新体制決まる 復興のその先へ -8 P
- 町政を問う (一般質問10人登壇) -12P

令和5年10月定例会は、10月23日から30日までの8日間にわたって開かれました。本定例会では、町長提案の条例改正1件、補正予算3件（一般会計【4号】）などを含む議案5件を審議し、すべて原案どおり可決されました。

4年度決算8件は、決算特別委員会を設置して2日間にわたって集中的に審議し、全て原案のとおり認定しました。
一般質問（掲載記事12頁、22頁）では、議員10人が登壇し、活発な議論が行われました。

定例会の議案審議や一般質問での質疑全文を記録した会議録は、令和6年3月下旬ころから、議会ホームページなどで閲覧可能となる予定です。

山田小学校放課後児童クラブ建設始まる

本定例会では、現在建設中の山田小学校の放課後児童クラブを建設するための工事請負契約が提案され、可決されました。

■工事の概要

▽工事名称 山田小学校放課後児童クラブ建設工事

▽工期 令和5年10月27日～6年3月29日

▽請負金額 1億9910万円

▽受注者 山崎建設株式会社

■質疑応答
問 子どもたちが利用する活動室は子ども一人当たり何㎡確保されているか。

濱登健康子ども課長
国の規定では一人当たりの最低所要面積が1・65㎡であるが、当ク

ラブは2㎡確保しており、国の基準を満たしている。

問 常駐する支援員の人数はどのくらいか。
健康子ども課長 支援員9名のほか、配慮の必要な子どもに対応する支援員を含め、10名ほどの配置が必要と考えている。

問 将来的に例えば避難所や集会所として使えるようにする考えはあるか。
健康子ども課長 避難所となるであろう山田小学校が隣接しているのを考えていない。集会所については、国の子育て支援に関する補助金を受けて建設するものであるため、放課後児童クラブのみの使用で考えている。

統合見据え120人入所可

第3回臨時会

令和5年第3回臨時会は、7月11日に開かれました。本臨時会では、町長提案の議案1件を審議し、原案どおり可決されました。

町民が利用できるプール建設へ

この議案は、山田小学校新校舎建設に伴い、同校のプール及び駐車場を、旧町民グランドテニス場跡地に建設するものです。

■質疑応答

問 ここにあったテニス場の整備は順調に進んでいるか。

芳賀学校教育課長 現在は仮テニス場として校庭側に整備をしている。その後、令和6年以降に今のプールを解体した跡地にテニス場を整備する予定。

要望 テニス場については、不便を感じさせないようにして、立派なプールができてよかったと言われるようお願いする。

問 以前、他の自治体のプールで、プールの吸水口に子どもが吸い込まれて亡くなったという事例があった。このプールは安全面がどのように考えられているのか、同様の事故がないように考えられているか。

高橋技監 プールの安全標準指針が文部科学省と国土交通省から出されている。この中では、以前排水口で児童の事故があったことから、排水口の安全対策の基準もある。具体的には吸水圧力を分散させるための構造としたり、ふたや吸い込み防止の柵などが設置される。

要望 レクリエーションプールなどに小学生よりも小さい子どもも来ると非常に気がかり。十分に配慮しながら進めてもらいたい。

第4回臨時会

令和5年第4回臨時会は、9月13日に開かれました。本臨時会は、町議会選挙後初の議会であることから、正副議長の選挙、各種委員会委員の選任などのほか、宮古地区広域行政組合並びに岩手県後期高齢者医療広域連合の各議会議員の選挙が行われました（掲載記事8頁～11頁）。その後、町長提案の議案1件を審議し、原案どおり可決されました。

可決した議案

- 山田町印鑑条例の一部を改正する条例
- 山田小学校放課後児童クラブ建設工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて
- 令和5年度山田町一般会計補正予算（第4号）
- 令和5年度山田町漁業集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）
- 令和5年度山田町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

スマホでコンビニ交付 印鑑登録証明書などが 対象

コンビニエンスストア等の多機能端末機（マルチコピー機）を利用した印鑑登録証明書や住民票の写しなどの交付、いわゆるコンビニ交付について、スマートフォンを利用して、できるだけようになるこ

とに備え、関係する条例改正案が提案され、全員賛成で可決されました。令和5年内に行われる国のシステム改修が完了すると、スマートフォンに搭載された「スマホ用電子証明書」を利用して、マイナンバーカードを持ち歩くことなくコンビニ交付を受けられることができます。

各種基金の組替え 産業振興基金増へ

総額50億9716万円を追加する令和5年度一般会計補正予算

（第4号）が可決されました。各種基金の組替えにより、災害公営住宅の起債の繰上償還や、産業振興、企業誘致等の支援に使える基金の積み増しなどが盛り込まれています。

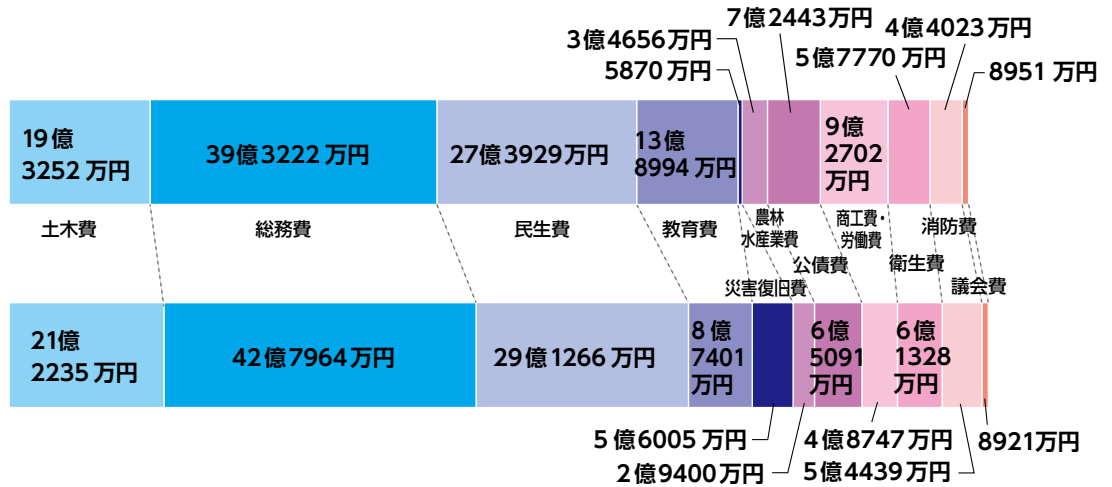


休日でも取得できます

コロナ・物価高騰に支援

歳出

令和4年度
131億
5817万円



4年度支出PickUp

経済対策費

原油・物価対策など
1億9557万円



新型コロナウイルスワクチン接種事業費

コロナワクチン
接種委託料など
9558万円



4年度決算審査のため、決算特別委員会を設置して10月26日と30日に審議しました。一般会計では、歳入が137億6816万円、歳出が131億5817万円となりました。決算特別委員会での集中的な審議を経て、一般会計など全8会計の決算を原案のとおり承認しました。

※1 自主財源とは
町税などの町で集めたお金のこと
※2 依存財源とは
国・県補助金などの町で集めたお金
以外のお金のこと

ふ るさと納税は2億999990万円
で3年度より5973万円
(24.8%)の増となり、惜しくも
3億円には届かなかったものの、
堅調な伸びを見せています。

歳 出は131億5817万円で
3年度より2億6980万円
(2.0%)の減となりました。

となりました。

自 主財源(※1)は町税、分担
金及び負担金、使用料及び手
数料、財産収入、寄附金などで
47億855万円となり、依存財源
(※2)は地方交付税や国県支出
金、町債などで90億5960万円
となりました。

4 年度一般会計決算は、歳入が
137億6816万円で3年
度より1億1619万円(0.8
%)の減となりました。

一般会計
決算の
焦点

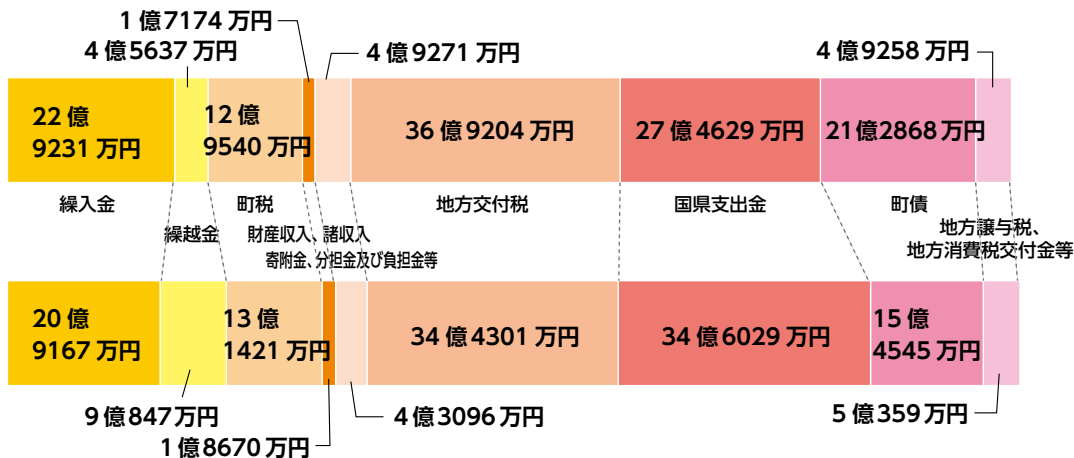
4年度決算

6億円の黒字確保

歳入

令和4年度

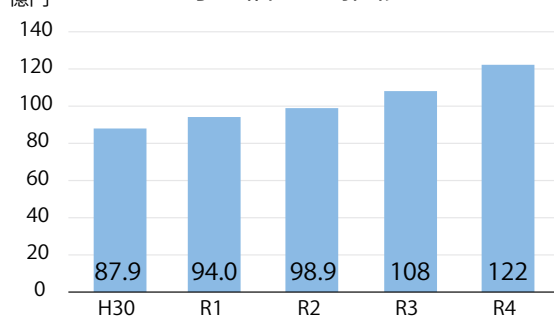
137億
6816万円



令和3年度

138億
8435万円

町の借金の推移



3年度から14億円増

町債残高

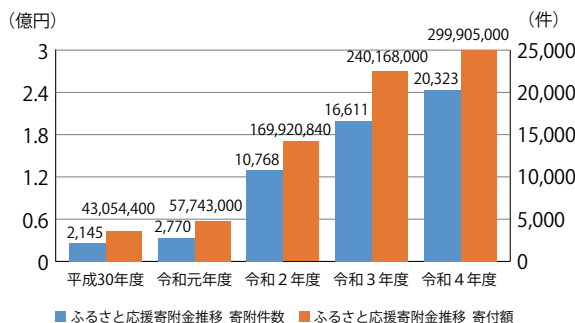
4年度末残高 **122億2198万円**

3億円まであと一歩!

ふるさと納税

令和4年度は **2億9990万円**

町のふるさと納税推移



会計名		歳入	歳出	採決結果
特別会計	国民健康保険	22億1804万円	20億2116万円	全員賛成
	後期高齢者医療	1億9785万円	1億9782万円	〃
	介護保険（事業勘定）	19億3764万円	18億5011万円	〃
	介護保険（サービス事業勘定）	441万円	380万円	〃
	漁業集落排水処理事業	1億6212万円	1億6004万円	〃
	公共下水道事業	6億4091万円	6億3593万円	〃

会計名	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	採決結果
水道事業会計	3億9582万円	3億5804万円	9649万円	2億6734万円	全員賛成

決算審査 ピックアップ

委員会での
審査の概要を
お伝えします。

4年度繰越金

次年度への対応は

問 4年度の繰越金が5億7千万ほどあるがその要因は。
財政課 歳出の減より歳入の減のほうが少なかったことが要因。歳出については、適正な執行ができた。
問 その年度にいたっていた税金などはその年度に住民の利益となるように使ったほうがよいのでは。住民が何かを要望しても「お金が

ないので待ってください」という回答が多いが、今後このような進め方とするのか。
財政課 町税等が増え、歳入が増となった部分について、補正対応で各事業に配分していききたい。
町長 重要な指摘である。お金がないということがないように、指摘を取り入れて予算編成をしていきたい。

家賃低廉化国庫補助金

補助期間後の家賃に影響は

問 災害公営住宅家賃低廉化事業国庫補助金を使って、入居されている方々は低廉な家賃で暮らすことができています。この補助金はずっと続くのか。
都市計画課 災害公営住宅を建設する際、用地取得していない場合は10年、している場合は20年となっている。
問 10年、20年それぞれどうなるのか。
都市計画課 災害公営住宅については、入居者の負担を軽減していることから、通常の公営住宅よりも家賃収入が少なくなる。その分の補てんという意味合いの補助金であるので、補助期間に関わらず、家賃に影響はない。



8年目の災害公営住宅が2団地あります

デマンドタクシー

高齢者等の足の確保を



デマンドタクシーとは、自宅付近の決められた場所から指定停留所まで利用者同士が乗り合って利用する予約式乗合タクシーです。

問 デマンドタクシーの利用状況は。
政策企画課 コミバスの利用者の少ない豊間根地区において、運行の効率化と高齢者等の利便性の向上を図る目的で導入したものの、実績は、導入した5年3月から9月末までの期間で、運行日数が48日、利用者が174名であった。
問 利用者の声はどうだったか。
政策企画課 運行期間中に特段アンケートなどは行っていないが、現在進めている地域公共交通形成計画策定の中で、アンケート調査や住民懇談会を実施する予定としている。利用者の声を吸い上げ、よりよい運行につなげていきたい。

町出身者の就職状況

町内で就職できるように

問 町出身の卒業者のうち、高校生の町内就職者の就職先は。

水産商工課 2年度は6名のうち、株式会社エフビーが4名、有限会社サトーが1名、びはん株式会社1名、3年度は5名のうち、株式会社エフビーが2名、船越湾漁業協同組合が1名、新岩手農業協同組合が1名、家業

を継いだ方が1名、4年度は5名のうち、株式会社エフビーが2名、びはん株式会社が1名、株式会社びはんコーポレーションが1名、山田町役場が1名となつている。

要望 高校生が町内でありたい職業に就けるように、これからも施策を進めていただきたい。



ハローワークと一層の連携が求められます

合併浄化槽補助金

設置補助率あげて



さらなる周知に努めます

問 4年度の浄化槽設置整備事業における設置数と設置された地域を伺う。

上下水道課 設置数は14基で、そのうち11基が豊間根地区で、その他の地区で3基となっている。

問 14基というのは少ないと思う。SDGsの観点からも14基設置という結果をどのように見ているか。また、今後どのように進めていくのか。

上下水道課 予算では20基程度の補助を見込

んで計上しているが、現状そこまで申請がなされていない。制度のさらなる周知に努めた

問 浄化槽は補助制度があっても非常に高額である。私道等整備事業補助金のように7割補助とできないか。

上下水道課 本事業は個人負担が6割、残り4割を国県町で負担しているが、町独自で個人負担の6割のうち1割分を上乗せして補助すること浄化槽の推進を図っている。

山田中央公園

防犯カメラの設置は

問 山田中央公園は利用者が多く、特に小学校低学年であったり、中学生もバスケットコートを使っていたり、利用が進んでいる。

一方、安全面での問題、例えばいじめなどの問題が生じないか心配である。そこで公園に防犯カメラを設置す

る考えはないか。**都市計画課** 防犯カメラの設置は、公園内の安全性向上を図る上で有効な手段であると考えられる。現時点で防犯カメラ設置を検討しているものではないので、他市町村の取組や設置の効果について研究していきたい。



仲良く利用しましょう

新体制決まる～14人の思い～ 復興のその先へ

任期満了に伴う山田町議会議員選挙が9月3日に執行され、14人の議員が当選しました。9月13日には初議会（第4回臨時会）が開催され、正副議長、各委員会の構成などを決定しました。これからの4年間を見据えた全議員の抱負を紹介します。

— 私たちが山田町議会議員です —

議員として16年培ってきた提言力と実現力で「漁業所得の向上」「観光資源の整備と活用」「細やかな子育て支援」「労働人口の充実」を継続的に進めてまいります。



議席13番
副議長
やまざき やすまさ
山崎 泰昌 (59)
(政 和 会)

私達が知らぬ間に、母なる海が変わっているのではないかと「危惧」している。今までの方法での取組でいいのか、何か新しい方法での取組があるのか。「漁業の街山田町」を目指し新しい目線で取り組んでまいります。



議席14番
議長
こん てるお
昆 暉雄 (81)
(無 所 属)

これまでの経験、知識等を糧に、町民の皆様と共に安心・安全で活力あふれる住みよい山田町を目指してまいります。誠意・誠実・行動力をモットーに全力を尽くす所存ですので、皆様のお力添えをお願い申し上げます。



議席3番
あべ よしえ
阿部 吉衛 (73)
(新 生 会)

3期目についても、町民の方々の負託を得たので、今後4年間は初心に帰り、私利私欲ではなく、真に町民各位に寄り添った町政運営に携わってきたいと思えます。今後ともよろしくお願いいたします。



議席2番
きくち こうめい
菊地 光明 (70)
(新 生 会)

女性や被災者の方々、弱い立場の方の声を代弁し質問提言をさせていただきました。これからもジェンダー平等を推し進め、暮らしと福祉・平和を守る政治をさらに広げてまいります。皆様方のお力添えをお願いします。



議席1番
きむら ようこ
木村 洋子 (65)
(日 本 共 産 党)



議席4番
なかや よしのぶ
中屋佳信 (61)
(令和新風会)

町民の皆様のご支援により初当選となりました。深く感謝いたしますとともに、その思いを重く受け止め、私の好きな山田町民歌のフレーズにもあるとおり「躍進の町ふるさと山田」の実に尽力してまいります。



議席5番
こん きよし
昆清 (74)
(新生会)

新たな4年間も地域の声を町政へ届けるパイプ役となり、全力で活動し、山田町の産業、経済、文化の発展を目指し、一生懸命働いてまいります。



議席6番
とよまね まこと
豊間根信 (70)
(政和会)

今日まで「勇気・情熱・実行」を胸に取り組んできました。これからも、しっかりと町の現実を直視し、未来を見据え安全安心な、そしてさらなる賑やかなまちづくりへ皆様と共に課題解決に真摯に取り組んでいきます。



議席7番
やまざき ただひろ
山崎忠弘 (64)
(令和新風会)

町民の皆様からのご支援で町政の場に立たせていただきました。人口減少、復興事業の完了、新型コロナウイルスの拡大により閉塞感が漂う町に新風を吹かせ、皆様と協働で「夢と希望がもてる山田町」をつくってまいります。



議席8番
ささき よしのぶ
佐々木慶信 (64)
(令和新風会)

町民の皆様からのご支援をいただき当選することができました。教員生活で培った知識を生かし、諸課題に取り組んでいきます。また、町民の皆様の声に耳を傾け、よりよいまちづくりのために行動してまいります。



議席9番
せき きよたか
関清貴 (71)
(政和会)

今回、町議会議員3期目のスタートにつくことができました。町民の町民による町政を常に考え、住民の皆様と共に住みよい町づくりに努めます。



議席10番
さとう かつのり
佐藤克典 (66)
(政和会)

地域産業の振興、住環境の整備、さらなる子育て支援、高齢者・障がい者福祉の充実を図り、誰もが山田町に生まれてよかった、山田町で暮らしやすかったと思える活気と思いやりのあるまちづくりに力を注いでまいります。



議席11番
さかもと ただし
坂本正 (76)
(新生会)

今後4年間の任期中は山田町の将来を見据えた観光開発が重要と考えています。特に、船越公園の再開発と周辺地域である入江田沼の開発に力を入れ取り組んでまいります。



議席12番
よこた たつひさ
横田龍寿 (47)
(政和会)

今後4年間、私が掲げている政策目標横田11策を軸とし改良しながら、私も含めた山田町民皆様のQOL(生活の質)をより一層高めていけるよう、町民の皆様と共に一期目よりもさらに努めて活動していく所存です。

4年間頑張ります！

各委員会の構成

9月13日に開かれた町議会選挙後初の議会では、前のページで紹介した議長、副議長のほか、各種委員会や一部事務組合の構成も決まりました。ここでは、各種委員会等のメンバー紹介と、委員会の役割についてご紹介します。

総務教育常任委員会

委員氏名	主な役割
委員長 豊間根 信 副委員長 横田 龍寿 委員 木村 洋子 菊地 光明 佐々木慶信 関 清貴	総務課、財政課、政策企画課、税務課、町民課、消防防災課および教育委員会の所管に関する事務ならびに産業建設民生常任委員会の所管に属さない事項についての調査を行います。 令和4年には、愛媛県を訪れ、南海トラフ地震などの大規模災害への備えの現状や、廃棄する野菜や果物でウニを蓄養する取組などを調査しました。

産業建設民生常任委員会

委員氏名	主な役割
委員長 阿部 吉衛 副委員長 佐藤 克典 委員 中屋 佳信 昆 清 山崎 忠弘 坂本 正 山崎 泰昌	農林課、水産商工課、長寿福祉課、健康子ども課、建設課、都市計画課および上下水道課の所管に関する事務についての調査を行います。 令和4年には、台風19号の復旧工事に遅れがないか、住民の声は反映されているか調査をしたり、「タブの大島」で知られる船越大島の現状を確認し、野生生物の生息状況や観光資源としての可能性などを調査しました。

議会運営委員会

委員氏名	主な役割
委員長 昆 清 副委員長 関 清貴 委員 山崎 忠弘 佐藤 克典 坂本 正 横田 龍寿	議会をスムーズに進めるため、議会の会期や日程の調整を行ったり、議会のルールや委員会条例などに関する事項の調査を行います。

議会広報編集特別委員会

委員氏名
委員長 横田 龍寿 副委員長 昆 清 委員 中屋 佳信 山崎 忠弘 佐々木慶信 山崎 泰昌



私たちが広報編集委員です

一部事務組合等議会

複数の市町村が共同で事業を行う一部事務組合等議会の議員選挙が行われ、次のように決まりました。

議会名	議員氏名	主な役割
宮古地区広域 行政組合議会	昆 清 佐藤 克典 横田 龍寿	条例の制定または改廃のほか、予算の議決、決算の認定を担います。年2回の定例会と、必要に応じて臨時会が開催されます。
岩手県後期高齢者 医療広域連合議会	関 清貴	

町政を問う

一般質問

10人登壇

10月定例会では、10月23日・24日の2日間にわたり、10人の議員が一般質問をし活発な議論が展開されました。

質問議員 (掲載ページ)	質問事項
昆 清 (13ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ○無縁墓の現状について ○マイナンバーカードについて ○希望ヶ丘団地の環境整備について ○道路の段差解消の件について ○教員の勤務実態について ○ナラ枯れによる枯死木の伐採について ○海業について
佐々木 慶信 (14ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ○教育予算について ○防犯について ○環境整備事業について ○防災について ○郷土芸能保存について ○人口減少に伴う諸問題への対応について
阿部 吉衛 (15ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ○漁業の振興について ○高齢者の見守りに関して ○公営住宅の整備について
中屋 佳信 (16ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ○道の駅やまだ「おいすた」の開業に伴う交通安全対策について ○道の駅やまだ「おいすた」について
山崎 忠弘 (17ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ○企業誘致のための優遇制度の拡充及び新設について ○行政評価の導入について ○山田版「目安箱」の導入について
関 清貴 (18ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ○建設行政について ○放課後児童クラブについて ○山田中学校の校庭施設について ○がん患者の医療用補正具について ○水道未給水地区について
木村 洋子 (19ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ○物価高騰下の支援等について ○廃校または廃校予定の校舎の利活用について ○生活道路の舗装化について ○ALPS処理水の海への放出について ○補聴器購入費用の助成について
横田 龍寿 (20ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ○都市型スポーツ等整備推進事業について ○町議会議員選挙について ○町総合防災訓練について
菊地 光明 (21ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ○2023・2024年問題について ○事業振興について ○三陸鉄道について ○上・下水道整備について ○人口減少対策について ○看板について ○教育行政について
豊間根 信 (22ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ○道の駅やまだ「おいすた」の開業効果と今後の展開について ○荒川地区の養鶏場による地域への煙害被害に対する対応について ○防災対策について ○山田北インターのフル化完成までの展望について ○ChatGPT等の利活用への取組について

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め疑問点を質す(ただす)ことです。議員の質問時間は1人20分以内で、町側の答弁時間は含みません。紙面の都合上、掲載できなかった一般質問は、令和6年3月下旬ころから議会ホームページ、図書館で閲覧可能となる予定です。



議員 清 義典 (新 生 会)

問 公営墓地に無縁墓あるか

答 管理がなされ生じていない

問 県内の公営墓地などで引き継ぐ人がいなくなつて放置される「無縁墓」が16自治体のうち7つの自治体で発生していることが国の調査で分かった。無縁墓は墓石の倒壊や、雑草や樹木の繁茂、不法投棄の温床になるなどの弊害が報告されているが、当町の公営墓地は何力所あつて、現状はどのような状態になっているのか伺う。

佐藤町長 本町の公営墓地は、後楽墓地及び後楽第2墓地の2カ所となっている。これら墓地の現状は、いずれのお墓も使用者などにより管理されており、

無縁墓は生じておらず、一定の環境が保たれている。今後、使用者などの協力を得ながら、適正管理に努めていく。



一刻も早い対策が求められる希望ヶ丘団地

その他の質問

- ◆ 教員の時間外勤務の現状は
- ◆ マイナンバーの誤登録トラブルはないか
- ◆ 海業の計画策定状況は
- ◆ 織笠第2団地付近の道路段差に早急な対策を

問 希望ヶ丘団地の環境整備を

答 早急に実施する

問 希望ヶ丘団地の西側の土手の法面の土砂が側溝に流れ込み、雨が降るたびに雨水があふれ住宅内に流れ込み、住民が大変な思いをしている。早急な対策がとれないものか伺う。

町長 団地西側の法面については、雨水により側溝へ土砂が流入している箇所があることから、速やかに法面保護工事を実施した上で、側溝の土砂撤去工事についても早期に実施するよう進める。

問 民家付近のナラ枯れ早急に対応を

答 現地確認し、伐倒する

問 山田町全域の山林でナラ枯れが発生しており、いつ木が倒れてもおかしくない状態となっている。特に民家付近においては、早急の対応が必要だが当局の考えを伺う。

町長 ナラ枯れ被害を受けた枯死木は、枝折れや倒木による通行人や家屋、公共施設などへの被害の恐れがあることから、町では広報紙などを通じて危険な枯死木の情報を収集し、現地確認の上、伐倒処理を行っている。今後、ナラ枯れによる危険な枯死木の情報収集に努め、早急に対応する。

問 図書購入費など教育予算の増額を

答 環境充実させる予算確保に努める



議員 信慶 木々 佐
(令和新風会)

問 令和3年度の一般会計決算額は134億円余で教育費の割合は6・5%であった。県内11市町村では教育予算の割合が10%を超えている。教育予算の増額について伺う。

松葉教育長 これまで必要な予算を確保してきた。今後も多様な教育課題に対応し、よりよい教育環境の充実のため、必要な予算の確保に努めていく。

問 豊間根小のトイレがいまだにくみ取り方式と聞いた。来年には山田小が開校する。令和の時代にくみ取り方式はいかなるものか。

芳賀学校教育課長 建設当時の当地区にお

る排水等の課題でくみ取り方式を採用しているが、簡易水洗であり、器具も更新するなど、衛生面には特に気を遣っている。

問 町の教育費の割合の推移が3年度が6・5%、2年度が5・1%、元年度が7・1%となっていることについて

て町長の見解は。

佐藤町長 教育は予算の問題だけではない。先生方がしっかりと当局と連携して、子どもたちの身になって考えることが一番の基本である。その中で必要なものや要望等にしつかりと応えていくことが我々の責務である。



山田の玄関口は常にきれいでありたいものです

問 郷土芸能保存の取組は

意見 町の図書購入費は年額138万円です。内33市町村中26番目である。隣の宮古市は1259万円です。県内2番目であった。図書館は多くの町民が訪れる所である。各種交付金を受けて図書購入費を増やしていただきたい。

答 伝承活動の取組を情報共有する

問 今年は町内各地でお祭りが盛大に行われた。一方で郷土芸能団体の担い手不足が表面化してきている。町内各団体を存続していく必要があると考えるが、町としてどのような取組をしていくのか。

教育長 各団体の活動は、歴史や伝統文化を継承していく上で重要な役割を担っている。後継者育成や今後の活動の在り方など、より円滑な伝承活動につながる取組について、町郷土芸能連合会等と情報共有を図っていく。

その他の質問

- ◆ 防災無線の難聴世帯への対策は
- ◆ 小中学校等へ警報システムの導入を
- ◆ 駅前花壇を除草して
- ◆ 今後大きな問題となる「無縁墓」への考えは



あ べ よし え 議員
阿 部 吉 衛 議員
(新 生 会)

問 柳沢団地 2階に渡り廊下を

答 状況により住替えていただく

問 柳沢団地のA棟とB棟は、エレベーターがないため住民は不便な思いをしている。A、B各棟の3階には、エレベーターがあるC棟への渡り廊下があるが、2階にはない。2階に渡り廊下を整備する考えはないか。

佐藤町長 利便性向上に資する対策の一つではあるが、大規模な改修工事を要することから慎重な判断が必要である。歩行が困難となった入居者にエレベーターを利用できる住戸に住替えいただくなど、状況に応じた対応を進める。

問 C棟のエレベーター前の階段にスロープは設置できないか。

町長 建物の構造等を確認し、入居者の意見を聞きながら設置を検討する。



2階の住民の緊急搬送時に階段を使わないような対策を

問 高齢者見守る仕組み導入は

答 制度周知し活用してもらおう

問 公営住宅の高齢の住民が夜に転んでけがをし、動けずに翌朝発見されるなどの事案が発生している。緊急通報システムなどの高齢者を見守る仕組みを導入する考えは。

町長 町では、単身の高齢者などを対象に、簡単な操作で通報できる緊急通報装置を貸与

している。また、町社会福祉協議会では、自宅の電話機などから安否等を知らせる「いわて“おげんき”みまもりシステム」を提供している。指摘の事案には、これらの仕組みを合わせて利用することが有効なことから、今後さらに制度の周知を図る。

問 水産専門員の設置は

答 人選進めだが確保に至っていない

問 新たな事業の実施や問題解決を行う水産に特化した課を創設し、水産専門員を設置する考えはないか。

町長 課の改編は、全体の中で業務内容や職員の規模など、慎重な

判断を要すことから、現在は考えていない。水産専門員は、専門的な知識、技術を持つ人材の配置が望ましく、採用に向け人選を進めたいが、確保に至っていない。

問 山田IC入口交差点に信号機を

答 交通状況の変化踏まえ要望する



なか や よし のぶ
中 屋 佳 信 議 員
(令 和 新 風 会)



道の駅やまだ「おいすた」開業により交通量が増加した山田IC入口交差点

問 北浜・柳沢地区の交通渋滞や事故が増加している。町道細浦柳沢線と山田IC入口付近の交差点に信号機の設置が必要では。
佐藤町長 信号機設置についてはこれまでも

宮古警察署と協議してきた。道の駅やまだ開業後の交通状況の変化を踏まえ、三陸国道事務所の協力を得ながら、改めて要望する。
問 齋苑へ進入する車両が戸惑いながら往来

している。路面表示を改善すべきでは。
町長 宮古警察署と協議するなど改善を図る。
問 齋苑への歩行者等の安全確保のため国道45号交差点から、やまだ齋苑へ沿った歩道を

整備して歩行者や自転車の安全確保を図るべきでは。
町長 近隣住民の齋苑への移動手段や経路、北側路側帯の利用ニーズや実態を踏まえ対応する。

問 出品者確保へ積極的な関与を

答 魅力的な施設となるよう連携する

問 開業から3ヶ月が経過したが、入込客数及び売上状況は「ふれあいパーク山田」も含めてどのようになっているか。

。「ふれあいパーク山田」は、対前年比27.8%減の約2万3千人、売り上げは29.9%減の約5千万円でも減少している。

して間もないことから、指定管理者と情報共有しながら、来場者にとって魅力的な施設となるよう連携し、健全な運営を支援する。

町長 9月末時点で買い物客数は約13万2千人、売り上げは約1億4300万円、当初計画と比較し客数で84.8%、売り上げで33.8%上回った。本町を訪れた方は26万4千人程度と推定してい

問 産直コーナーに地元野菜や魚介類が少ないとの声を聞くが、産直施設の出品者確保に、町の積極的な関与と支援が必要では。
町長 出品者確保は指定管理者がするべきものであるが、オープン

問 道の駅で様々なイベントを開催し「おいすた」を広くPRするとともに、町内への誘客に積極的な取組を。
町長 町内経済に波及効果をもたらすよう、各種取組を積極的に推進していく。



やまざきただひろ 山崎忠弘 議員
(令和新风会)

問 企業誘致のため独自の制度を

答 新たな支援制度を準備中

問 企業誘致を進めるためには、他の自治体がない町独自の優遇制度が必要である。そのため、現行の優遇制度の拡充や新たな優遇策を検討すべきではないか。

佐藤町長 本町へ進出した企業や、事業拡大に伴う工場増設などを検討する企業を後押しすべく、国や県及び町で実施している現行補助制度に上乗せして補助金を交付する、新たな支援制度の創設に向け、準備を進めている。

問 本町における財政状況は、今後厳しくなることが予測される。そこで限られた財源を有効に活用しながら効果的、効率的に事業を推進するため、行政評価を導入すべきではないか。

町長 実施計画ローリングにおいて、各事業の評価や点検を行って

いるほか、「第2期総合戦略」では、施策の基本目標の達成度を示す、いわゆるKPIを設定し、「総合戦略検討委員会」で、客観的な効果検証を行っている。

行政評価の導入は、現在実施している内容を踏まえつつ、他自治体の事例を参考に、今後、検討を進めていく。

答 他自治体参考に検討進める

問 行政評価を導入すべき



限られた財源で、効果的・効率的な事業推進を

問 山田版「目安箱」導入を

答 現在の広聴体制の周知を図る

問 町民から『自分たちの苦情、要望、提言などが町に届かない、どのようにすれば届くのか』などの町政に対する不満の声がある。そこで、江戸幕府8代将軍徳川吉宗が享保の改革で実施した「目安箱」の制度を参考にし、町民の声に、町長が答えるという山田版

「目安箱」の制度を導入すべきではないか。

町長 「目安箱」は、町民からの苦情、要望、提言などを集約することができるところの一つであるとして認識しているが、現在の広聴体制をより町民に理解していただけるよう町広報紙やHP等を活用し周知したいと考えている。



行政評価

町で行う各事業において、町民にとっての効果は何か、当初期待した目的のとおりになるか、という視点で評価・検証する手法のこと。

KPI

事業ごとの進捗状況を検証するために設定する指標のことで、達成状況を定点点検することで、目標達成に向けた組織の動向を把握できるようになります。

問 町道長林・大浦線側溝にふたを



せき 関 議員
きよ たか 清 貴
(政 和 会)

答 改修の必要性、優先度見極め検討

問 町道長林・大浦線の側溝にふたがないが整備予定は。

佐藤町長 一部区間で降雪時に脱輪するとのことで対応を検討している。改めて現地を確認し、改修の必要性や優先度を見極め検討する。

問 山田小学校へ上っていく道路脇の青線に草が生い茂り川幅が狭くなり、水害によって石垣が崩れないか心配だが、町の考えを伺う。

町長 毎年草刈り、堆積土砂の除去を行い危険な状況ではないと判断している。今後も適正な維持管理に努める。



施設利用者が不便なく使える水道の整備を

問 医療用補正具購入に助成を

答 治療・就労等の支援策として検討

問 県内26市町村で、

がんの治療に伴う医療用補正具の購入者に助成している。本町でも医療用補正具の購入費用の助成制度を考えて

かどうか。

町長 がん患者の方の治療と就労や社会参加との両立の支援策として、助成制度の実施を検討する。

問 水道を等しく提供すべき

答 施設整備に多額の費用要する

問 内野地区、山谷地区に上水道を供給して町民に等しく公平に生活環境を提供すべきと考えるが。

町長 上水道を供給していない理由は、施設整備に多額の費用が必要なことが大きな要因である。内野地区は地元水道組合の要望により飲料水施設へ補助金を拠出し、平成27年に完成したが、その後の状況を確認し、必要に応じて対応を検討していく。山谷地区の国道北側は地域の水道組合が飲料水を供給している。国道南側は宅地造成した事業者が管理す

べきと考えている。

問 総合運動公園において、今年の異常な暑さで熱中症が出なかったか。また、町が運営する体育施設に上水道が通っていないのは、町外の利用者に不便を来し、町のイメージを悪くする。競技する人たちの健康を考え、上水道を整備する考えはないか。

町長 熱中症は1名発生したと報告を受けている。上水道の整備は、多額の費用が必要であり、整備は考えていないが、飲料水の提供方法は改めて検討したい。

その他の質問

- ◆ 放課後児童クラブ運営状況の改善を
- ◆ 山田中学校グラウンドに夜間照明を



議員 木村 洋子
（日本共産党）

問 物価高騰下の事業者に支援を

答 必要に応じた事業実施を検討

問 令和2年度末から続く燃油・物価高騰が事業者に大きな影響を及ぼしている実情がある。漁業をなりわいとしている個人の漁業者においては、頼みのウニ漁等も不振であった。農業者においては、凍霜害と高温障害に加えてシカの被害に苦しんでいるのが実態である。商工業者、農林漁業者の抱えている課題と支援策をどのように考えているか。

「原油価格・物価高騰対策支援金」の給付や「プレミアム付商品券事業」などの消費活動の喚起を行った。今後も、必要に応じた事業の実施を検討していく。



町民のニーズを的確に把握して補聴器の助成を

問 処理水の海洋放出への見解は

答 反対だが現実的な対応も必要

問 10月5日に2回目となる福島第一原発のALPS処理水の海への放出が開始された。三陸の海を漁場にしていく本町の漁業にとって、風評被害と将来的な人体への影響が懸念される。処理水放出に対する見解と放出に対して反対の立場をしっかりと取っているのか伺う。

町長 処理水の海洋放出には反対の立場だが、廃炉の安全・着実な進展と福島復興のため、現実的な対応も必要と認識している。国においては、水産資源への風評被害対策をしっかりと行うなど、漁業関係者などから理解と安心を得られるような取組を確実に実施していただきたい。

問 加齢性難聴者にも助成を

答 実施に向け検討する

問 加齢性難聴者への補聴器費用の助成を県内各自治体で実施に踏み切っている状況がある。宮古市においても、今年度から実施する予定である。高齢化の進行に伴う介護需要

の抑制効果も期待されることから、実施を考えるべきでは。
町長 第2期地域福祉計画のニーズ調査結果により、高齢者の日常生活支援策として実施に向け検討を進める。

問 都市型スポーツ等事業進捗は しんちよく



よこ た たつ ひさ
横 田 龍 寿 議員
(政 和 会)

答 山高生の意見踏まえ検討進める



山田高校生のアイデアに期待しましょう

問 都市型スポーツ等整備推進事業の現時点

問 アイデアが出たのか。

での進捗状況は。佐藤町長 10月12日に山田高校の生徒を対象としたワークショップ及びフィールドワークを実施した。ここで出された意見やアイデアなどを踏まえながら、今後具体的な検討を進めていく。

問 10月1日の町防災訓練の参加者、避難者はそれぞれ何人か。特にも避難者数が年々減少していると思うが、増加のための対策をどのように考えているか。

町長 令和5年度総合防災訓練の参加人数は696人、避難者数は272人だった。危機意識の低下が危惧され

答 今年度は272人

問 防災訓練避難者数は

佐藤政策企画課長 スケートパークを整備するなら初心者でも滑れる施設にして欲しい。中央公園のバスケットゴール利用者が多いので増設して欲しい。利用者に求めるマナー、ルール整備に対しての提案、今後も施設整備までの間、関わりたいという要望があった。

問 山田高校ではイベントの時などにインターネットやnoteを活用しているようだ。この話し合いの内容を公表するよう山田高校に働きかけてはどうか。

問 他の町民の方から案はどのように届けられよいか。

問 防災訓練をしていくと、人の心理的にいざ災害というときにパニックを起こさず、冷静に対処できる確率が上がる。この認識から防災訓練はまさに参加することに意義があると考え。そこで参加

◆投票率向上策は
その他の質問



議員 明光 菊地 (新生会)

問 町道福士線計画説明会はいつか

答 事業実施時にかわら版で周知

問 町道福士線の側溝をはじめとした道路計画について、6月定例会でも質問したが、地区説明会等はいつ頃を予定しているか。
佐藤町長 現在、現地の状況を確認し、道路幅員が狭い箇所や沿線に住宅が立ち並ぶ箇所など、側溝にふたが必要な箇所を優先的に整備する方向で検討を進めている。説明会等の時期は、現時点で示すことはできないが、事業実施の際には地域住民に対し、工事かわら版により事前のお知らせを行うほか、必要に応じて説明会を行うなど、円滑な工事の推進に努める。



改修工事が望まれる町道福士線

問 補聴器購入補助金を

答 実施に向け検討する

問 本町において、補聴器を利用している方にどのような取扱い等をしているのか。購入補助金は考えられないか。
町長 補聴器について、本町では身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障害者及び身体障害者手帳の交付対

象とならない18歳未満の軽度・中等度難聴児に対する補聴器の購入や修理に要する費用への助成を行っている。なお、加齢性難聴への補聴器購入助成については、高齢者の日常生活の支援策として、実施に向け検討を進める。

問 町道等の草刈は誰が行うのか

答 町と地域住民などで実施



草刈りが望まれる田の浜低地部

問 町道敷の路肩等の草刈等は、誰が実施するのか。
町長 町道等の草刈は、道路管理者である町が実施するほか、地

域住民主体の環境美化活動や、町建設業界の奉仕活動など、多くの協力により行われている。

その他の質問

- ◆猫石坂の道路整備計画は
- ◆大沢ふるさとセンターの駐車場は
- ◆荒神海水浴場の駐車場の拡張整備は
- ◆町内不登校の実態は

問 道の駅おいすたの開業効果は

答 町内各地へ流れを創り出せている



とよ ま ね ま こと
豊 間 根 信 議員
(政 和 会)

問 当初の想定と比較すればどのような状況であるか、また産直ひろば・ふれあいパーク山田および町内経済への波及効果の現状および今後のさらなる施策展開について問う。

佐藤町長 9月末時点で買い物客数は約13万2千人、売上約1億4300万円、客数で約6万1千人、本町を訪れた方々は買い物客の2倍の26万4千人と推定している。
ふれあいパーク山田の7月から9月までの買い物客数は、前年比27・8%減、売上げは29・9%減となっている。



ふれあいパーク山田は今後リニューアル工事が予定されています

問 養鶏場煙害地域懇談会後の状況は

答 煙突伸長工事が8月に完了

問 長年、周辺環境の改善を求めてきたが、進展せず地域住民は耐えてきた。6月8日に地域懇談会を開催し早急な対応を求めたが、その後の状況は。

町長 懇談会后、地域の皆様の問題解決への切実な思いを受け、養

鶏場本社と連絡体制を構築し対応を進めてきた。鶏糞ボイラー煙突伸長工事が8月10日に完了し、今後も臭気コンサルタントによる煙

および鶏舎の臭気対策が予定されている。今後も地域と連携し問題解決に対応していく。

問 Chat GPT活用せよ

答 安全で効果的な活用を検討

問 前回の議会においても質問したが、各自治体はさらなる加速度をもって積極的活用へ取り組んでいる。限られた人員でさらなる行政サービスの向上を目指すには、問合せ対応チャットボットなど、積極的な導入・活用策を展開すべきであると思うが見解について問う。

町長 県において積極的な利用に向けた活用ガイドラインを策定中とのこと。町でも国・県を参考に、安全で効果的な活用に向けて検討を進め、行政サービスの向上を図ってきたい。

その他の質問

- ◆山田北インターの進捗状況と具体的展望および周辺の利活用・整備計画・企業誘致策等について
- ◆官民一体となった防災施策展開のためにも各地区に防災倉庫等の設置も必要では

行政 視察

山田の復興状況などを説明

新型コロナウイルス感染症が感染症法の「2類感染症」から「5類感染症」に位置づけられたことに伴い、昨年度は3件だった当町への行政視察が今年度は既に4市町が来町されています。当町の復興状況や、南海トラフ地震への備えとして、地震・津波対策の現状などを視察しました。

千葉県とうのしょうまち東庄町（6月22日来町）

コンパクトな町づくりの公共交通



震災後のコンパクトな町づくりから、公共交通の在り方を視察された東庄町。住宅地が高台へ移転し、商店街との距離が遠くなったことから、循環バスやコミバスを導入した事例を紹介しました。

千葉県かとり香取市（7月5日来町）

しいたけ生産者のナマの声聞きたい



香取市は旧山田町を含む市町が合併してできた市で、合併に伴う姉妹都市提携解消後も災害時相互応援協定を締結するなど、交流が続いています。船越の道の駅やまだ（当時）で、当町のしいたけ生産者の生の声を聞きました。

静岡県ふじのみや富士宮市（8月8日来町）

復興後の街並みをようやく見られた



平成29年8月8日、視察のちょうど6年前、富士宮市と災害時応援協定を締結しました。震災時も大変多くの支援をいただきました。当町の復興後の街並みや、心の復興の進め方などを視察しました。

静岡県まつぎきちょう松崎町（10月11日来町）

教訓を南海トラフ地震へ活かしたい



松崎町は駿河湾に面し、平地も広大なことから、南海トラフ地震への備えを一層強化するため、当町の地震発生直後から3日後までの役所の動きと、住民の動きの双方を聞き取り、お互いの役割などを確認しました。

みんなの「声」

Vol. 23



町民の皆さまからの町への提言、思いなどを紹介します。
表紙(1ページ)に登場いただいた岡田さん家族にお話を聞きました。

右から
ゆきのり 章典さん
ゆうり 友凜ちゃん (5歳)
ともみ 友美さん
りゅうくん 琉信くん (1歳)

山田の風土が大好きです

—町の良いところは
海があつて山もあつて、自然豊かなところですね。

—町に望むことは
子どもたちが楽しく遊べる、遊具のある公園が身近に欲しいです。

—子どもに望むことは
健康で伸び伸びと育ってほしいです。そして誰とでもコミュニケーションを取れる人になってほしいです。

傍聴席からひとつと

No. 65

菊地 みち子さん

座談会開催して町民の声を聴いて

山田町婦人団体協議会では12月定例会2日目の議会傍聴を恒例行事としています。町内7地区14名で傍聴しております。私は平成23年に田の浜地区婦人会会長就任以来、欠かすことなくこの行事に参加しております。

今回は友人に誘われ、初日の議事を傍聴しました。9月の町議会議員選挙後初めて開催される議会とということもあり、期待をもって参加しました。町長の町政報告を聞くのは初めての経験で新鮮さを感じました。また、一般質問でもそれぞれの議員が特色を出して、これからの山田町のことを考えて発言していることが伝わってきました。

私はこれからの山田町を住みやすく、そして暮らしやすくしていくために三つのことを実現してほしいと考えています。一つ目は「子育て世代の働く場所の確保」です。山田が好きなのに、生活のために山田を離れていく若者たちを多く見きました。難題かもしれませんが、明日の山田町のためにも打開策を探って

ほしいと思います。

二つ目は「公共交通機関の充実」です。私も年齢を重ね、免許返納を考えると近づくようになりました。公共交通機関のお世話になることも同世代の皆さんとは身近な話題となっています。山田町もいろいろな施策を行っています。山田町もいろいろな施策を行っています。山田町もいろいろな施策を行っています。

三つ目は「町内の医療機関の現状維持」をお願いします。入院できる県立山田病院も必要です。既存の町内の病院もとても重要です。増えたらいいことが何よりですが、まずは減らないことが大事です。町の施策に掲げて取り組んでほしいと思います。

最後に議員の皆様にお願いで。このような町民の声を聴いていただく機会を設けてください。よりよい山田を願う気持ちです。すべての町民の思いです。町内各地で座談会形式の集会を開いていただきたいと思っています。町民全員でこれからの時代に即した町づくりをしていけたらと思っています。



あとかき

▼今回新たに議会広報編集特別委員長となりました横田龍寿です。今期の委員は私と広報編集特別委員会副委員長経験者2名と3名の新人議員です。副委員長経験者2名は言わずもがな、他の3名も新人とはいえ、長年役所や教育の場で文章に慣れ親しみ、経験と実績を兼ね備えている3名です。▼委員の中で私が一番の若輩者で最も経験値が低いですが、私が常日頃心掛けていた「無能の能」で委員全員の力を存分に借りて共に頑張ってくださいませ。▼誌面を通して、我々山田町議会と町民の皆様との距離がより一層近づくと、そして町民の皆様が町政に関わっていることをより一層実感できるように、委員一同努めてまいります。

発行責任者

議長	長 昆 暉 雄
副委員長	横 田 龍 寿
委員	山 崎 佳 清
委員	山 崎 忠 弘
委員	山 崎 信 昌
委員	山 崎 泰 昌